

令和7年度病床機能報告 報告様式1【有床診療所】

1. 貴院名						
2. 病床・外来管理番号						
3. 医療機関住所		〒		-		
4. 報告担当者	氏名（漢字）					
	氏名（ひらがな）					
	部署名					
	連絡先	電話番号	市外局番		-	
		FAX番号	市外局番		-	
e-mail					@	

○ 必須項目は、記入欄を太枠で囲んでいます。

○ 任意の報告項目についてご報告いただく場合には、当該項目のすべての設問にご記入ください。

1. 設置主体【令和7年7月1日時点】

1. 厚生労働省	2. 独立行政法人国立病院機構	3. 国立大学法人	4. 独立行政法人労働者健康安全機構
5. 国立高度専門医療研究センター	6. 独立行政法人地域医療機能推進機構	7. その他（国）	
8. 都道府県	9. 市町村	10. 地方独立行政法人	11. 日赤
12. 済生会			
13. 北海道社会事業協会	14. 厚生連	15. 国民健康保険団体連合会	16. 健康保険組合及びその連合会
17. 共済組合及びその連合会	18. 国民健康保険組合	19. 公益法人	20. 医療法人
21. 私立学校法人	22. 社会福祉法人	23. 医療生協	24. 会社
25. その他の法人			
26. 個人	(1) ☐		

2. 貴院の令和7年7月1日時点での地方厚生（支）局長への入院基本料の届出の有無、過去1年間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の最大使用病床数について、ご記入ください。

① 令和7年7月1日時点での地方厚生（支）局長への入院基本料の届出の有無	1. 有り 2. 無し	(2) ☐
② 過去1年間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の最大使用病床数	1. 1床以上 2. 0床	(3) ☐

◎上記の2.-①の回答が「2. 無し」かつ2.-②の回答が「2. 0床」に該当する場合は、以下の必須項目のご記入は不要となります。
 ・「7.職員数」のうち、「②入院部門の職員数」の項目
 ・「9.入院患者数の状況」の項目

3. 医療機能等【医療機能の選択にあたっての考え方については、「令和7年度病床機能報告マニュアル①」を参照してください。】

① 2025（令和7）年7月1日時点の機能

1. 高度急性期機能 2. 急性期機能 3. 回復期機能 4. 慢性期機能 (4)
5. 休棟中(今後再開する予定) 6. 休棟中（今後廃止する予定）

② コロナ対応の状況について、該当するものを全てにチェックを入れ、1、2をチェックした場合は、その病床数を記入してください。
【令和7年7月1日時点】

- | | | | | | | |
|--------------------------------------|-----|----------------------|-----------------|-----|----------------------|---|
| 1. コロナ患者（疑似症患者を含む）対応（※1）を行っている | (5) | <input type="text"/> | →チェックした場合、その病床数 | (5) | <input type="text"/> | 床 |
| 2. コロナ患者（疑似症患者を含む）対応のため休棟・休床（※2）している | (5) | <input type="text"/> | →チェックした場合、その病床数 | (5) | <input type="text"/> | 床 |
| 3. コロナ回復後の患者の受入を行っている | (5) | <input type="text"/> | | | | |
| 4. それ以外（地域における役割分担の協議を踏まえた一般医療の提供など） | (5) | <input type="text"/> | | | | |

③ 2026年7月1日時点の機能

1. 高度急性期機能 2. 急性期機能 3. 回復期機能 4. 慢性期機能 (6)
5. 休棟予定 6. 廃止予定 7. 介護保険施設等へ移行予定

④ 上記③で「7. 介護保険施設等へ移行予定」を選択した場合、2026年7月1日時点の移行予定先について選択してください。

1. 介護医療院 2. 介護老人保健施設 3. 介護老人福祉施設 4. 1～3以外の介護サービス (7)

※1 「コロナ患者（疑似症患者を含む）対応を行っている」とは、当該病棟において、実際にコロナ患者を受け入れている病床を有する場合を指します。

※2 「コロナ患者（疑似症患者を含む）対応のために休棟・休床している」とは、当該病棟がコロナ対応に係る感染管理・人員確保等のために休棟・休床の対応を行っている場合を指します。



上記項目3において「2026年7月1日時点の機能の実現」に向けて、それ以前に変更予定がある場合は、下のチェックボックスにチェックを入れて、変更後の機能、その変更予定年月を入力してください。

2026年7月1日迄に変更予定あり ☐



変更後の機能⇒

(8)

変更予定年月

西暦

年

月

4. 有床診療所の病床の役割【令和7年7月1日時点】

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能 | 2. 専門医療を担って病院の役割を補完する機能 |
| 3. 緊急時に対応する機能 | 4. 在宅医療の拠点としての機能 |
| 5. 終末期医療を担う機能 | 6. いずれの機能にも該当しない |
| 7. 休棟中 | |

該当番号を5つまで ⇒

(9)

5. 許可病床数【令和7年7月1日時点】・最大使用病床数等【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

※ 有床診療所の病床数は、19床以下とされています。

※ 許可病床数（一般病床、医療法上の経過措置に該当する病床、療養病床）は、昨年度ご報告いただいた場合、その際の報告内容があらかじめ入力（プレプリント）されています。本設問についてはあらかじめ入力されている値を必ずご確認のほどお願いいたします。

	許可病床数 （※1）	最大使用病床 数（※2）	最小使用病床 数（※3）	2026年7月1日 時点の予定病 床数
① 一般病床（単位：床）（10）				
上記①のうち、医療法上の経過措置に該当する病床（平成13年3月1日時点で既に開設許可を受けている一般病 床であって、6.3㎡/床（1人部屋）・4.3㎡/床（その他）となっている病床数）（11）				
② 療養病床（単位：床）（12）				
③ 医療法上のコロナ特例により増床した病床（単位：床）（※4）（13）				

※1 許可病床数は、医療法上の許可病床数をご回答ください。

※2 最大使用病床数は、許可病床数のうち令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数をいいます。

※3 最小使用病床数は、許可病床数のうち令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間に最も少なく入院患者を収容した時点で使用した病床数をいいます。

※4 医療法上のコロナ特例により増床した病床とは、新型コロナウイルス感染症患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者に関する診断及び治療に係る病床の確保のため、医療法第7条の2第7項の規定又は医療法第30条の4第10項の規定に基づく医療法施行令第5条の3第2項の規定に基づき、協議を行い許可された病床の数を指します。

上記において「最大使用病床数」の合計が0床である場合には、その理由をご記入ください。【自由記入欄】（条件付必須）（14）

6. 一般病床・療養病床で算定する入院基本料別の届出病床数【令和7年7月1日時点】

① 有床診療所入院基本料	(15)		床
② 有床診療所療養病床入院基本料	(16)		床
①②の入院基本料の届出なし 《許可病床数（10）（12）の合計から届出病床数（15）（16）の合計を差し引いた値を自動計算により算出》	(17)		床

7. 職員数【令和7年7月1日時点】

※ 各部門の職員とは、専ら当該部門で業務を行っている（勤務時間の概ね8割以上を当該部門で勤務する）職員をいいます。複数の部門で業務を行い、当該部門での勤務が通常の勤務時間の8割未満となる場合には、「④外来部門の職員数」に計上してください。

※ 「①施設全体の職員数」と「②入院部門の職員数」、「③手術室の職員数」、「④外来部門の職員数」、「⑤その他の部門の職員数」の合計数が一致するように計上し、各部門間において職員数の重複がないようご記入ください。

※ 2つの部門を兼務している職員については、専ら当該部署で業務を行っている（勤務時間の概ね8割以上を当該部門で勤務する）職員数を計上し、それ以外は外来部門に計上してください。《一部自動計算により算出》

① 施設全体の職員数

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)
(18) 医師		人	(19) 歯科医師		人
(20) 看護師		人	(21) 准看護師		人
(22) 看護補助者		人	(23) 助産師		人
(24) 理学療法士		人	(25) 作業療法士		人
(26) 言語聴覚士		人	(27) 薬剤師		人
(28) 診療放射線技師		人	(29) 臨床検査技師		人
(30) 臨床工学技士		人	(31) 管理栄養士		人
(32) 救急救命士		人			

※ (18) ～ (32) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

② 入院部門の職員数

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)
(33) 看護師		人	(34) 准看護師		人
(35) 看護補助者		人	(36) 助産師		人
(37) 理学療法士		人	(38) 作業療法士		人
(39) 言語聴覚士		人	(40) 薬剤師		人
(41) 臨床工学技士		人	(42) 管理栄養士		人
(43) 救急救命士		人			
令和7年7月1日時点で入院部門に入院患者がいない場合、あるいは入院部門での勤務が通常の勤務時間の8割未満となる看護職員のみの場合等、看護職員が0人となる場合には、右の項目にチェックを入れてください。					(44)

※ (33) ～ (43) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

③ 手術室の職員数

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)
(45) 看護師		人	(46) 准看護師		人
(47) 看護補助者		人	(48) 助産師		人
(49) 理学療法士		人	(50) 作業療法士		人
(51) 言語聴覚士		人	(52) 薬剤師		人
(53) 臨床工学技士		人	(54) 管理栄養士		人
(55) 救急救命士		人			

※ (45) ～ (55) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

④ 外来部門の職員数

※複数の部門で業務を行い、各部門での勤務が通常の勤務時間の8割未満となる場合には、外来部門の職員として取り扱うものとします。複数部門における勤務時間数により職員数を按分していただく必要はありません。また、ある部門における職員数が「0人」となってしまっても構いません。

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)
(56) 看護師		人	(57) 准看護師		人
(58) 看護補助者		人	(59) 助産師		人
(60) 理学療法士		人	(61) 作業療法士		人
(62) 言語聴覚士		人	(63) 薬剤師		人
(64) 臨床工学技士		人	(65) 管理栄養士		人
(66) 救急救命士		人			

※ (56) ～ (66) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

⑤ その他の部門の職員数（透析室、外来化学療法室、放射線照射外来室、入院調整部門、退院調整部門、訪問看護部門、医事部門等）

※透析室、外来化学療法室、放射線照射外来室、入院調整部門、退院調整部門、薬剤部門、リハビリテーション部門、訪問看護部門、医事部門、管理部門、健診（人間ドック）部門等

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)
(67) 看護師		人	(68) 准看護師		人
(69) 看護補助者		人	(70) 助産師		人
(71) 理学療法士		人	(72) 作業療法士		人
(73) 言語聴覚士		人	(74) 薬剤師		人
(75) 臨床工学技士		人	(76) 管理栄養士		人
(77) 救急救命士		人			

※ (67) ～ (77) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

8. 主とする診療科【令和7年7月1日時点】

※ 診療科が貴院の診療科名と一致しない場合には、最も近い診療科を選択ください。

※ 該当する診療科がない場合は、読み替えが可能な最も近い診療科を選択ください。なお、読み替えが困難な場合は、「44. その他の診療科」を選択ください。

- | | | | |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. 内科 | 2. 呼吸器内科 | 3. 循環器内科 | 4. 消化器内科（胃腸内科） |
| 5. 腎臓内科 | 6. 神経内科 | 7. 糖尿病内科（代謝内科） | 8. 血液内科 |
| 9. 皮膚科 | 10. アレルギー科 | 11. リウマチ科 | 12. 感染症内科 |
| 13. 小児科 | 14. 精神科 | 15. 心療内科 | 16. 外科 |
| 17. 呼吸器外科 | 18. 心臓血管外科 | 19. 乳腺外科 | 20. 気管食道外科 |
| 21. 消化器外科（胃腸外科） | 22. 泌尿器科 | 23. 肛門外科 | 24. 脳神経外科 |
| 25. 整形外科 | 26. 形成外科 | 27. 美容外科 | 28. 眼科 |
| 29. 耳鼻咽喉科 | 30. 小児外科 | 31. 産婦人科 | 32. 産科 |
| 33. 婦人科 | 34. リハビリテーション科 | 35. 放射線科 | 36. 麻酔科 |
| 37. 病理診断科 | 38. 臨床検査科 | 39. 救急科 | 40. 歯科 |
| 41. 矯正歯科 | 42. 小児歯科 | 43. 歯科口腔外科 | 44. その他の診療科 |
| 45. 複数の診療科で活用 | | | |

(78)

該当番号 ⇒

「45」を選択した場合、患者を多く診
ている順に上位3つまで

⇒

上位1位	上位2位	上位3位

9. 入院患者数の状況【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

※ 一般病床・療養病床に入院するショートステイ利用者、正常な妊産婦、院内で出生した正常な新生児、生母の入院に伴って入院した健康な新生児又は乳児、公費負担医療、労災保険制度や労働福祉事業としての医療、自賠責、治験、人間ドック、母体保護法、その他の自由診療等での入院者、介護療養病床への入院患者についても、新規入院患者数・在院患者延べ数・退院患者数に数えてください。

※ 1入院1単位と考え、入院期間が通算される再入院患者等についても新規入院患者・退院患者として数えてください。

① 新規入院患者数（単位：人）

(79)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記①のうち、急変による入院患者（単位：人）

(80)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記①のうち、他の急性期医療を担う病院の一般病棟からの受入割合（小数点第2位を四捨五入）（単位：％）

(81)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

② 在院患者延べ数（単位：人）

(82)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

③ 退院患者数（単位：人）

(83)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

※ (79) ～ (83) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

10. 入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

※「新規入院患者数」及び「退院患者数」の考え方は、上記の「9. 入院患者数の状況」と同様になります。

① 新規入院患者数（単位：人） 《自動計算により算出 ※ (85) ～ (90) の合計》 (84)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

入院前の場所

上記①のうち、家庭からの入院 (85)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記①のうち、他の病院、診療所からの転院 (86)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記①のうち、介護施設・福祉施設からの入院 (87)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記①のうち、介護医療院からの入院 (88)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記①のうち、院内の出生 (89)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記①のうち、その他 (90)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

② 退院患者数（単位：人）												《自動計算により算出 ※（92）～（99）の合計》		(91)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
退院先の場所															
上記②のうち、家庭へ退院														(92)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
上記②のうち、他の病院、診療所へ転院														(93)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
上記②のうち、介護老人保健施設に入所														(94)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
上記②のうち、介護老人福祉施設に入所														(95)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
上記②のうち、介護医療院に入所														(96)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
上記②のうち、社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所														(97)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
上記②のうち、終了（死亡退院等）														(98)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
上記②のうち、その他														(99)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			

※（84）～（99）の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

11. 退院後に在宅医療を必要とする患者の状況【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】															
本項目の内訳の患者数の合計と上記の「10.②退院患者数」が一致すること（単位：人）															
退院後1か月以内に在宅医療を必要としない患者（死亡退院を含む）														(100)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
退院後1か月以内に自院が在宅医療を提供する予定の患者														(101)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
退院後1か月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者														(102)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
退院後1か月以内の在宅医療の実施予定が不明の患者														(103)	
1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			

※（100）～（103）の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

12. 在宅療養支援診療所の届出の有無【令和7年7月1日時点】

① 在宅療養支援診療所の届出の有無

1. 有り 2. 無し

(104)

13. 往診、訪問診療を実施した患者延べ数【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

① 往診を実施した患者延べ数（単位：人）

(105)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

② 訪問診療を実施した患者延べ数（単位：人）

(106)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

※ (105) ～ (106) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

14. 看取りを行った患者数【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

① 医療機関以外での看取り数（単位：人）

在宅療養を担当した患者について

(1) 医療機関以外での死亡者数

《自動計算により算出 ※ (108) ～ (109) の合計》

(107)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記(1)のうち、自宅での死亡者数【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

(108)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記(1)のうち、自宅以外での死亡者数【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

(109)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

② 医療機関での看取り数（単位：人）

在宅療養を担当した患者について

(2) 医療機関での死亡者数

《自動計算により算出 ※ (111) ～ (112) の合計》

(110)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記(2)のうち、連携医療機関での死亡者数【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

(111)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記(2)のうち、連携医療機関以外での死亡者数【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

(112)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

※ 自院で死亡した患者は「医療機関での死亡者数」の「上記(2)のうち、連携医療機関での死亡者数」欄へ計上してください。

※ 介護老人保健施設等の入所施設で死亡した患者については、「医療機関以外での死亡者数」の「上記(1)のうち、自宅以外での死亡者数」欄へ計上してください。

※ (107) ～ (112) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

15. 分娩件数（正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く）（単位：件）【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

(113)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

※ (113) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

16. 救急医療の実施状況【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

※ 休日とは、日曜日及び国民の祝日に関する法律第3条に規定する休日、1月2日及び3日並びに12月29日、30日及び31日を指します。また、夜間・時間外とは、貴院が表示する診療時間以外の時間（休日を除く）を指します。

※ 休日の夜間に受診した患者は休日に受診した患者延べ数のみ計上してください。

① 休日に受診した患者延べ数（単位：人） (114)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記①のうち、診療後直ちに入院となった患者延べ数 (115)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

② 夜間・時間外に受診した患者延べ数（単位：人） (116)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

上記②のうち、診療後直ちに入院となった患者延べ数 (117)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

③ 救急車の受入件数（単位：件） (118)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

※ (114) ～ (118) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

17. リハビリテーションの状況【令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間】

① リハビリテーションを実施した患者の割合（単位：%）（小数点第2位を四捨五入） (119)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

② 平均リハ単位数（1患者1日当たり）（単位：単位）（小数点第2位を四捨五入） (120)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

③ 過去1年間の総退院患者数（単位：人）《項目9.「③ 退院患者数」の患者数》 (121)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

④ 上記③のうち、入院時の日常生活機能評価が10点以上又は機能的自立度評価法（FIM）得点で55点以下であった患者数（単位：人） (122)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

⑤ 上記④のうち、機能的自立度評価法（FIM）得点で55点以下の患者数（単位：人） (123)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

⑥ 上記④のうち、入院時に比較して退院時（転院時を含む）の日常生活機能評価が3点以上（回復期リハビリテーション病棟入院料1又は2の場合には4点以上）又はFIM総得点で12点以上（回復期リハビリテーション病棟入院料1又は2の場合には16点以上）改善していた患者数（単位：人） (124)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

⑦ 上記⑥のうち、FIM総得点で12点以上（回復期リハビリテーション病棟入院料1又は2の場合には16点以上）改善していた患者数（単位：人） (125)

1年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

※ (119) ～ (125) の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

18. 医療機器の台数【令和7年7月1日時点】

① CT	マルチスライスCT	64列以上	(126)		台
		16列以上64列未満	(127)		台
		16列未満	(128)		台
	その他のCT（上記の多列検出器CT以外のCT）		(129)		台
② MRI	3テスラ以上		(130)		台
	1.5テスラ以上3テスラ未満		(131)		台
	1.5テスラ未満		(132)		台
③ その他の医療機器	血管連続撮影装置（デジタル・サブトラクション・アンギオグラフィー法を行う装置）		(133)		台
	SPECT		(134)		台
	マンモグラフィ		(135)		台
	PET		(136)		台
	PETCT		(137)		台
	PETMRI		(138)		台
	ガンマナイフ		(139)		台
	サイバーナイフ		(140)		台
	強度変調放射線治療器（IMRT）		(141)		台
	遠隔操作式密封小線源治療装置		(142)		台
	内視鏡手術用支援機器		(143)		台

※（126）～（143）の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

19. 退院調整部門の設置状況【令和7年7月1日時点】

① 退院調整部門の有無				1. 有り 2. 無し				(144)			
② 退院調整部門に勤務する職員数 ※退院調整部門の設置をしている場合のみご記入ください。											
		専従 従事者の実人数		専任 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)				専従 従事者の実人数		専任 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)	
(145) 医師			人		人	(146) 看護職員			人		人
(147) MSW			人		人	(148) MSWのうち、社会福祉士の資格を有する者			人		人
(149) 事務員			人		人	(150) その他			人		人

※（145）～（150）の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。



本診療所票の報告内容について、貴院で【令和6年4月1日～令和7年7月1日】の期間内に入院部門の再編・見直しを行ったことで、【令和6年4月1日～令和7年3月31日】の1年間分の状況を令和7年7月1日時点の入院部門の単位で報告することが困難な場合は、下の項目にチェックを入れて、令和7年7月1日時点の入院部門の単位で「月単位」で報告が可能な過去の期間をご記入ください。本診療所票で過去1年間の状況を報告する項目では、ご記入いただいた対象期間における状況についてご記入ください。

令和6年4月1日～令和7年7月1日の間に
再編・見直しあり



令和 年 月 1日 ～ 令和 年 月 末日

その他、ご報告にあたっての特記事項【自由記入欄】

(151)